

春 告 草

第 36 号 平成 28 年 6 月 29 日 進路指導部発行

国立大多様な選抜へ！

今年度大学入試の注目ポイントの一つに、東京大学の推薦入試と京都大学の特色入試があげられる。本校からはそれぞれに 1 名ずつ応募して、めでたく両名とも合格した。東大、京大以外の国公立大学にも、推薦入試、AO入試など特別入試の募集枠を拡大する傾向があり、今後の動向に注目する必要がある。

文部科学省が平成 28 年 3 月に公表した国立大学 86 校の中期目標・中期計画（2016～2021 年度）には、大学入試改革も盛り込まれている。これによると、2020 年度から大学入試センター試験に変わる新テストが実施されることに伴い、受験生の課外活動歴などを多面的に評価する新しい選抜方法の導入を掲げている大学が相次いでいる。新テストは中 2 以降が対象だから自分達には関係ないやとは言っていない状況があるのだ。

お茶の水女子大学は「新フンボルト入試」を 2017 年度入試より始める。プレゼミナール受講後に提出されたレポートで一次選考を行い、続いて「課題についてのレポート作成とグループ討論、面接」、「実験、実験演示や実験データに基づく考察とプレゼンテーション」、「自主研究課題のポスター発表」などで二次選考を行う。選考方法は志望する学部・学科により異なるので詳細は大学ＨＰ等で確認しよう。ただし、自主研究課題のポスター発表は、「これまでの高校での取り組みを評価する試験」と明記されているので、誰でも出願できるものではないことは押さえておこう。（http://www.ocha.ac.jp/news/h280126_d/fil/h280126_2.pdf）

大阪大も 2017 年度入試より「世界適塾入試」を開始する。現在行っている AO・推薦入試を拡大して実施するもので、今年度より募集枠が 214 名増加される。これに伴い後期日程は廃止されるが、さらに 2019 年度までにさらに募集枠を拡大することが決まっている。

国立大学協会でも 2018 年度までに、AO入試・推薦入試などの合格者を倍増させる改革プランを発表しており、各大学は多様な人材獲得を目指している。

一橋大学では 2018 年度入試から推薦入試を全学部で始める。これまで商学部だけで行っていた推薦入試を全学部に拡大するものだが、これにより法学部、社会学部の後期募集が廃止され、法学部の前期日程募集数が 215 名から 200 名へと縮小される。選抜方法はこれまで商学部で行っていた方式に準じて実施されることが決まっている。（<http://www.hit-u.ac.jp/admission/pdf/H30senbatsu.pdf>）

東北大も今後 6 年間で全募集人員に占める AO入試の割合を現在の 20%から 30%まで引き上げると発表している。今後、AO入試、推薦入試は「特別」な入試形態だからと無視して良いとは言えない時代になっていくのかもしれない。

※AO入試 AOはアドミッション・オフィスの略。一般入試と異なり、志望理由書、調査書、面接などによって評価されるが、大学によってはセンター試験の成績が判定に用いられる場合もある。
自己推薦入試、公募推薦入試、一芸入試などと明確な区別があるわけではない。

公募制推薦への出願は慎重に（平成 28 年度進路指針より抜粋）

私はどうしても筑波大学にいきだかったこともあり、チャンスが増えるならと思い、夏休み明けに公募推薦を受けることを決めました。しかし、受ければラッキーという軽い気持ちで推薦受験を決めたために、推薦に対するモチベーションを上げることができませんでした。とは言っても対策なしで受験するわけにもいかず、9月から11月までの約3カ月を推薦試験の勉強に充てなければいけませんでした。一般入試の勉強もある中での推薦対策勉強は本当に辛いものでした。一般入試の勉強が思うように進められない焦りがあり、不安がいつもつきまとっていました。推薦は結果的に不合格で、効率の悪い勉強をしてしまったと思います。安易に推薦に走るのは自分で自分の首を絞めるだけなので止めたほうが良いと思いますが、志望理由が明確な人はひとつの選択肢として推薦試験を考えてみるのも良いのでしょう。秋の遅れを取り戻そうと必死に勉強して、前期で合格することができたので結果オーライですが、出願は慎重に考えてください。

（筑波大学 人文・文化学群 日本語・日本文化学類 在学）

東京大学推薦入試・京都大学特色入試の状況

東京大学推薦入試結果

学部	募集人員	志願者数	合格者数	倍率
法	10	24	14	1.7
経済	10	7	4	1.8
文	10	10	3	3.3
教育	5	9	4	2.3
教養	5	17	2	8.5
工	30	47	24	2.0
理	10	32	11	2.9
農	10	12	9	1.3
薬	5	4	3	1.3
医（医）	3	9	2	4.5
医（健康）	2	2	1	2.0
計	100	173	77	2.2

京都大学特色入試結果

学部	募集人員	志願者数	合格者数	倍率
総合人間	5	29	5	5.8
文	10	40	7	5.7
教育	6	25	5	5.0
法	20	324	22	14.7
経済	25	77	25	3.1
理	5	59	5	11.8
医（医）	5	5	1	5.0
医（看護）	10	13	1	13.0
医（理学療法）	3	7	2	3.5
医（作業療法）	3	2	2	1.0
医（薬科学）	3	2	0	—
工（地球工）	3	0	0	—
工（電気電子）	5	12	3	4.0
工（情報）	2	1	1	1.0
工（工業化）	若干	0	0	—
農（食療・環境）	3	20	3	6.7
計	108	616	82	7.5

主要大学説明会へ出かけよう

東京大学が主催する「主要大学説明会 2016」が夏休み中に開催されます。入試担当者に直接お話が聞ける絶好のチャンスです。資料参加だけの大学もありますが、特に地方大学受験を考えている人は、資料を一度に集めるチャンスです。事前申し込み制になっていて参加申し込みが必要です。先着順受付となっています。

下表に示したスケジュールで各大学が大学紹介、教育内容の他、平成 29 年度入試の選抜方法について説明を行うほか、個別相談会も設けられています。既にオープンキャンパスの申し込み受け付けが定員超過で受付終了となったところなどは、この説明会へ出かけて話を伺ってくるのも良いと思います。

期日：平成 28 年 8 月 18 日（木）

場所：東京ビッグサイト（ゆりかもめ「国際展示場正門」下車徒歩 3 分）

詳細：<http://daigakujc.jp/shuyoudai2016/>

http://www.u-tokyo.ac.jp/stu03/e01_07_12_j.html

申込：事前申し込み制（6 月 24 日より先着順）

主催：東京大学 協賛：参加各大学 協力：河合塾、駿台予備学校、株式会社 Z 会



参加予定大学

国公立大 東京大学、茨城大学、筑波大学、群馬大学、埼玉大学、千葉大学、東京医科歯科大学、東京外国語大学、一橋大学、東京海洋大学、東京農工大学、東京工業大学、お茶の水女子大学、電気通信大学、横浜国立大学、京都大学、新潟大学、金沢大学、京都工芸繊維大学、大阪大学、山口大学、九州大学、国際教養大学、横浜市立大学
 私立大学 慶應義塾大学、中央大学、東京理科大学、法政大学、明治大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学

※資料参加 北海道大学、弘前大学、東北大学、宇都宮大学、信州大学、名古屋大学、神戸大学、鳥取大学、岡山大学、長崎大学、首都大学東京

時 間	大 学 説 明 会			個別相談会
	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会場
10:20～11:00	基調講演 東京大学			10:00 ～ 16:00 上記参加大学の 個別ブースが あります。
11:10～11:50	東京大学	東京外国語大学	—	
12:00～12:40	横浜国立大学	大阪大学	九州大学	
12:50～13:30	筑波大学	埼玉大学	—	
13:40～14:20	現役大学生の体験談	東京大学 推薦入試説明会	—	
14:30～15:10	千葉大学	京都大学	慶應義塾大学	
15:20～16:00	早稲田大学	東京工業大学	—	



首都大学東京

今年度入試状況の分析レポート第 3 回目は、首都大学東京です。

首都大は 2005（平成 17）年 4 月に、それまでの都立 4 大学・短大（都立大、都立科学技術大、都立保健科学大、都立短大）を再編・統合して開校しました。4 学部 28 学科・コースから構成され、南大沢、日野、荒川の 3 キャンパスがあります。入学後は南大沢キャンパスで全学部が学びますが、システムデザイン学部は 3 年次より日野キャンパス、健康福祉学部は 2 年次より荒川キャンパスに移ります。

南大沢キャンパスと日野キャンパスを結ぶ無料連絡バスも運行されていますが自転車を使用する学生が多いようです。南大沢キャンパスは東西 1.5km にも広がる敷地で、面積は東京ドーム 9 個分に相当します。この為、キャンパス内の移動にも自転車を使用する学生が多く、駐輪場がいたる所に設置されています。

公立大学ですから授業料は文系理系に関係なく、国立大よりも安い 520,800 円であること、入学金が都外入学者の半額 141,000 円というメリットもあります。さらに学内の留学制度を使った「交換留学」では、留学先の学費が免除されるので、負担のかからない海外留学が実現できます。開校されてまだ 11 年目の新しい大学ですが、都立大学時代からのアカデミックな学風は変わらず、さらに世界各地の大学との学術交流を通じて、教育・研究のグローバル化を推進している大学と内外から高く評価されています。

一般入試の学生募集数と今年度入試の結果は右表の通りとなっています。

学部・学科名等		前期日程			後期日程		
		募集定員	出願者数	倍率	募集定員	出願者数	倍率
都市教養	人文・社会	146	611	4.2	22	204	9.3
	法学	176	1343	7.6			
	経営学（前期 A）	150	497	3.3			
	経営学（前期 B）	20	110	5.5			
	経営学（後期）				30	471	15.7
	数理科学	25	164	6.6	7	57	8.1
	物理学	24	174	7.3	12	136	11.3
	化学	28	127	4.5	9	216	24.0
	生命科学	18	129	7.2	10	122	12.2
	電気電子工学	21	199	9.5	8	233	29.1
都市環境	機械工学	21	187	8.9	8	168	21.0
	地理環境	17	59	3.5	5	54	10.8
	都市基盤環境	31	99	3.2	6	107	17.8
	建築都市	36	298	8.3	10	172	17.2
	分子応用化学	34	156	4.6	9	132	14.7
システムデザイン	知能機械システム	40	171	4.3	10	98	9.8
	情報通信システム	30	197	6.6	10	88	8.8
	航空宇宙システム	30	203	6.8	10	208	20.8
	経営システム	30	150	5.0	10	96	9.6
	イダストリアルアート	40	171	4.3	10	119	11.9
健康福祉	看護学科	45	148	3.3	10	136	13.6
	理学療法学科	25	89	3.6	5	56	11.2
	作業療法学科	25	33	1.3	5	34	6.8
	放射線学科	22	120	5.5	8	139	17.4

2 段階選抜不合格者の多い上位 5 校

	前 期	後 期
1	首都大学東京 612	一橋大 665
2	東京大 560	岐阜大 493
3	一橋大 189	首都大学東京 471
4	愛媛大 150	山梨大 303
5	京都大 142	福島県立医大 293
全体	前期日程分計 2,745	後期日程分計 4,079

2016 年度入試の概況

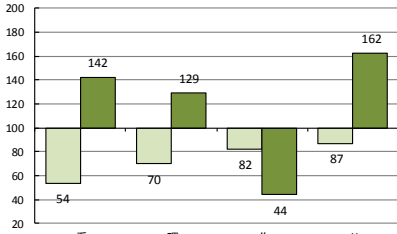
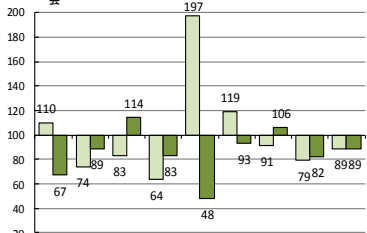
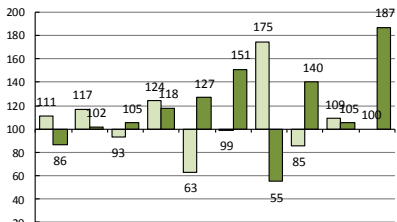
大学全体の志願者数は、前期と後期で様相を異にする。前期は 5,435 人（前年比 97 以下同）でほぼ前年並み。後期は 3,046 人（117）と増加した。後期は昨年度入試での大幅減（79）の反動が主な原因と考えられる。2 段階選抜はセンター試験の成績によって行われる。前期日程では、募集定員の 6 倍（健康福祉のみ 5 倍）、後期日程では募集定員の 14 倍で実施される。今年度は前期 10 学科、後期 9 学科で実施され、足切りされた志願者は前期後期合わせて 1,083 名で志願者総数の 12.8%にあたる。

右ページに志願動向を載せたが、募集単位が多いので後期日程については省略した。前年度志願者数の増減により次年度志願者数が大きく揺れる傾向が大きい。グラフは省略したが後期日程は、特にその傾向が顕著に表れている。首都大出願については、前年度の志願状況を慎重に検討する必要があると思われる。

■ **都市教養学部** 前期志願者数は 3,541 人（100）と前年並みに落ち着いたが、人文・社会（86）と理工一化学（55）では、前年度増加の反動が響き志願者は減少した。一方、後期は 1,607 人（178）と大幅に志願者は増加した。特に、全年度大幅減だった経営学系では志願者が 471 人（294）にのぼり、ボーダー得点率は 8%アップした（河合塾データリサーチによる）。

- 都市環境学部** 前期志願者数は 612 人 (94) と減少した。ただし、人気系統の建築都市のみ志願者を増やしている (114)。後期は 465 人 (115) と昨年度入試での志願者減少分を取り戻したように見受けられるが、牽引役は前期同様、建築都市 (143)。分子応用化学では 2 年連続で志願者が減少し、2014 年度入試の約 50% の志願者数となり、前期・後期ともボーダー得点率は 5% ダウンした。
- システムデザイン学部** 昨年度入試で前期・後期ともに志願者が増加した反動により、今年度は前期 (79)、後期 (64) とともに大きく志願者を減らしており、ボーダー得点率・2 次ランクともにダウンしている学科が目立つ。しかしながら、航空宇宙システムは根強い人気で、前期・後期ともに唯一、志願者数が増加している。
- 健康福祉学部** 放射線学科・前期を除いては、個別試験で学科試験が課されず、ボーダー得点率は 70～75% 程度が求められる。学部全体として前期・後期ともに志願者数が前年度を上回っており、公立の保健医療系統として確固たる人気を維持している。ただし、後期日程導入 2 年目となる理学療法・作業療法では志願者を減らしている。

志望動向（前期日程）



■ 2015 年度／2014 年度 ■ 2016 年度／2015 年度

入試科目と合格最低点

センター試験は概ね 5 教科 7 科目が中心だが、以下の募集単位は異なる。科目負担が軽くなることが志願者増加に結びつくことは容易に理解できると思うので、慎重に判断しなければいけない。

- 3 教科 3 科目 都市教養・法学（国、地歴・公民 or 数学、外）
- 3 教科 4 科目 都市環境・分子応用化学（数 2、理、外）
- 4 教科 5 科目 都市環境・建築都市（国 or 地歴・公民、数 2、理、外）
システムデザイン（国、数 2、理、外）
- 4 教科 6 科目 都市教養・電気電子、機械（国、数 2、理 2、外）
都市環境・都市基盤環境（国、数 2、理 2、外）
システムデザイン（国、数 2、理 2、外）

（インダストリアルアートを除く 4 コース）

健康福祉（国、数 2、理 2、外）ただし看護、理学療法、作業療法については理科の科目選択の仕方でも 4 教科 7 科目、5 教科 6 科目、5 教科 7 科目のパターンもあり

いずれも前期日程についてである。個別試験を含め詳細は大学 H P 等で確認してください。

推薦入試・AO入試

指定校推薦入試の他、一般推薦入試、AO入試を実施している。AO入試は科学オリンピック入試（若干名）、ゼミナール入試（生命科学 14、地理環境 4）、グローバル人材育成入試（人文社会 6、経営 3、地理環境 1～2、都市基盤環境 2、建築都市 2、分子応用化学 2）が行われている。

オープンキャンパス（開催日・開催場所）

- 南大沢キャンパス（全学部対象）
7 月 17 日、8 月 21 日
- 日野キャンパス（システムデザイン学部）
7 月 30 日
- 荒川キャンパス（健康福祉学部）
8 月 8 日

合格平均点・最低点など		前期日程			後期日程		
		平均点	最低点	満点	平均点	最低点	満点
都市教養	人文・社会	868	817	1200	858	827	1100
	法学	802	771	1000	—	—	—
	経営学（前期 A）	625	597	900	—	—	—
	経営学（前期 B）	635	600	900	—	—	—
	経営学（後期）	—	—	—	952	928	1250
	数理科学	837	788	1250	903	—	1150
	物理学	823	781	1250	847	787	1150
	化学	803	771	1250	899	870	1150
	生命科学	835	794	1250	884	—	1150
	電気電子工学	790	742	1200	814	—	1100
環都境市	機械工学	838	773	1200	871	818	1100
	地理環境	670	609	1050	773	—	1000
	都市基盤環境	1044	985	1500	652	—	800
	建築都市	867	830	1200	443	430	600
デシザイン	分子応用化学	736	696	1000	471	437	600
	知能機械システム	639	607	1000	464	430	600
	情報通信システム	660	622	1000	452	433	600
	航空宇宙システム	660	628	1000	499	482	600
	経営システム	659	616	1000	442	412	600
福健祉康	インダストリアルアート	681	639	1000	446	—	600
	看護学科	558	529	750	383	359	500
	理学療法学科	635	612	800	406	—	500
	作業療法学科	582	459	800	404	—	650
	放射線学科	774	743	1000	526	510	650

※合格平均点、最低点は大学発表データを小数点第 1 位を四捨五入して表示した。合格者が 10 名以下の募集単位は合格最低点を公表していない。